



元町だより

令和7年度
5月号

大好き！元町幼稚園

文京区立認定こども園元町幼稚園
副園長 澤田 亮

認定こども園元町幼稚園としてスタートして、早1ヶ月が経ちました。毎日子どもたちの元気な声が、園舎内からも園庭からも聞こえています。大きな笑い声、友達と呼び合う声、昼寝から起きる泣き声、幼稚園はとても賑やかです。今回は、そんな元町幼稚園を少しだけ紹介します。

元町幼稚園は現在、1歳から5歳の園児85名が通っています。好きな遊びでは、保育室で遊ぶ子もいれば、園庭で遊ぶ子もいます。ある日、5歳児クラスの子どもたちが「クッキー屋さんができましたよー」「来てください」と4歳児クラスや3歳児クラスの子どもたちを誘いに来ていました。2階のテラスは、3、4、5歳児クラスの保育室全てに面していて、お互いに行き来しやすい作りになっています。その後、子どもたちは先生と一緒に画用紙で作ったクッキーを買いに来ていました。

園庭では、天気のいい日はたくさんの子どもたちが遊んでいます。1、2歳児クラスの子どもたちはテラスで靴を履き替えて、みんなで外に出ます。ボールを転がしたりトンネルをくぐったり、体を動かして遊んでいます。先生がゴザを広げると、自然と集まってきていつの間にかピクニックになりました。円形の容器をドーナツに見立てたりコップを持って飲むまねをしたりしています。「ちょうだい」と言うと自分のものを分けてくれたり、「かんぱーい」と言ってグラスを合わせたりすることを楽しんでいます。

園の生活にも慣れてきて、子どもたちは少しずついろいろな人と関わったり保育室以外の場に興味をもったりしています。4月号で園長が述べた、「自分が心地よいと感じる場所(空間)」に、元町幼稚園が少しずつなっていることを感じます。これから、時間をかけて仲間を作って、子どもたちの遊びと生活がますます充実していけるように、教職員一同、力を尽くして取り組んでいきます！

*園だよりの中で、「大好き元町！」として、元町幼稚園の好きなところを教職員が紹介するページを連載します。お楽しみにしてください。



3、4、5歳の保育室に面しているテラス



子どもたちが出会う園庭